

1. 件名：日本原燃株式会社との再処理施設の新規制基準適合性審査の進め方等に関する面談

2. 日時：令和2年10月29日（木）13時05分～13時35分

3. 場所：原子力規制庁 原子力規制部長室

4. 出席者

原子力規制庁 市村原子力規制部長

原子力規制部

長谷川安全規制管理官（核燃料施設審査担当）

日本原燃株式会社

宮越 常務執行役員 再処理事業部長

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社から再処理施設に係る設計及び工事の計画の認可申請（以下「設工認申請」）、検査の進捗状況等について、以下のとおり説明があった。

- 前回の審査会合時点では計画通りに進んでいなかったが、設工認申請対象設備の選定等の作業は軌道に乗りつつある。設工認申請に向けて引き続きしっかり進めていく。
- 検査に関しては、過去の検査結果の取り扱いに係る検討等に時間を要しているが、引き続きしっかり進めていく。
- また、労務管理に問題があった点については、適切な管理をしていく。

(2) 規制庁から、以下のとおり伝えた。

- 設工認申請対象設備の選定や類型化の考え方等については、これまでも時間を掛けて議論してきていると認識している。
- しかし、未だ理解が及んでいない点があるとすれば、双方の、あるいは社内でのコミュニケーションが不十分な点もあるのではないかとと思われる。
- 検査に係る論点を含め、十分なコミュニケーションをとって進めていくことが重要である。

6. その他

なし